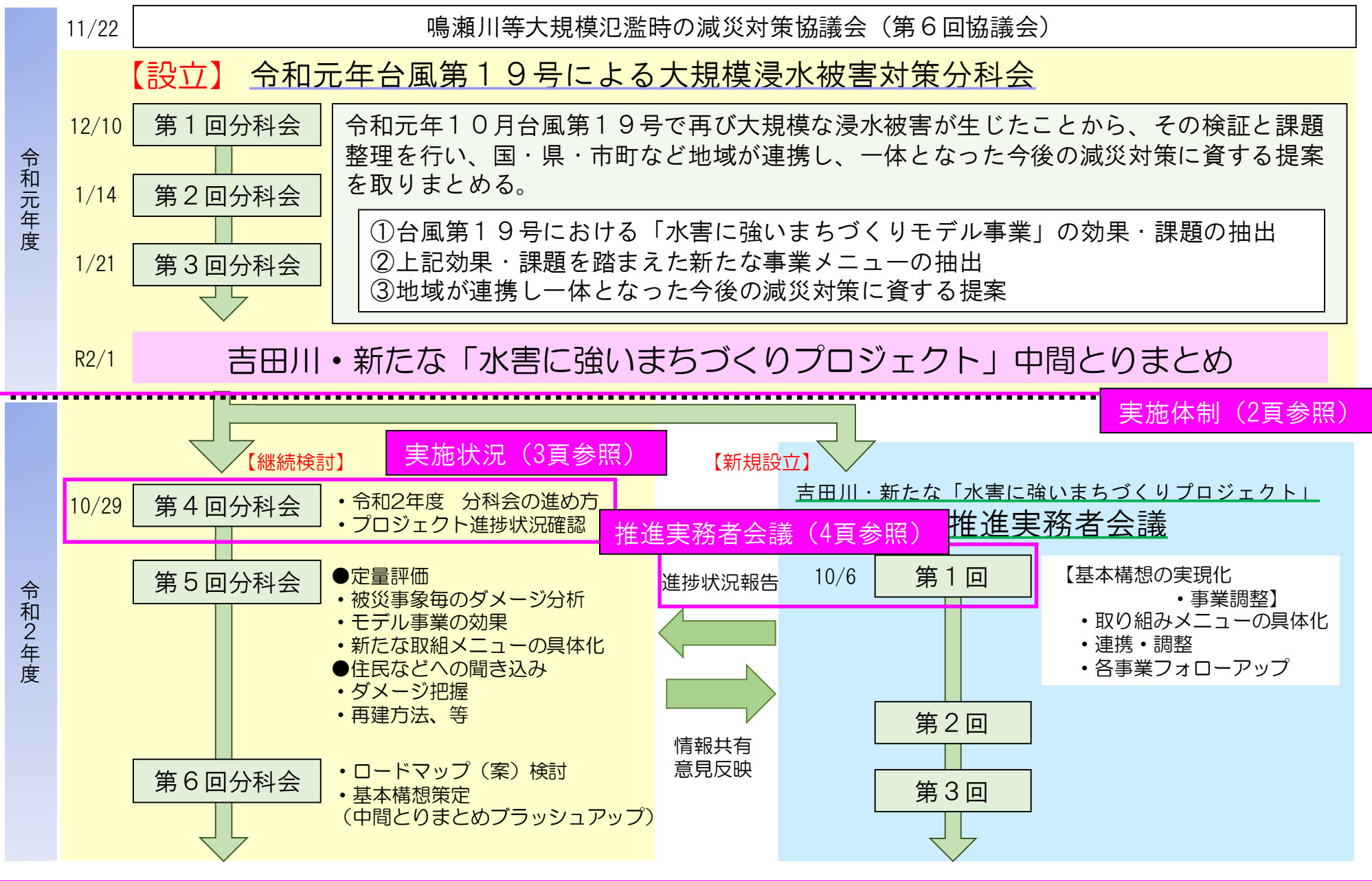


# 1.令和元年台風19号による大規模浸水被害対策分科会の取組状況(分科会の流れ)



# 2.令和元年台風19号による大規模浸水被害対策分科会の取組状況(実施体制)

## 新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」実施体制

I. (仮称)連絡調整会議 (R2～) ※準備会R2.6.12開催

各自治体が実施する「水害に強いまちづくりプロジェクト」の実施メニューを確実に実施するための**各省庁連携した財源確保に資する補助事業、制度・法令の創設・緩和等に関する連絡調整**

- 補助・制度に関する助言等
- ・補助事業の提案・助言
- ・予算の確保
- ・障害の取り除き

- 事業推進における課題・要望・提言等
- ・事業スケジュール
- ・事業化に向けた課題
- ・予算

**減災対策協議会**  
国・県・流域自治体  
(H28.3～)

大規模な浸水被害に備え、自治体や県、国等が連携し、流域全体における減災対策を一体的に推進、吉田川プロジェクトの取組状況の横展開

- ・ハード対策
- ・流域対策
- ・ソフト施策

**吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」**

水害に強いまちづくりに向けた地域一体となった推進体制

II. 令和元年台風第19号による大規模浸水被害対策分科会 (R1.12～)

【浸水被害の検証】

- ・今次出水の検証、氾濫解析、課題整理
- ・基本構想
- ・減災対策

III. 吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」推進実務者会議 R2～

【基本構想の実現化・事業調整】

- ・プロジェクト取組みメニュー事業化
- ・具体の事業進捗について連携・調整
- ・各事業フォローアップ
- ・その他事業推進に伴う各種調整等

情報共有

提言に対する事業提案・助言  
住民への防災関連情報提供

有識者からの提言  
国・県への政策提言  
住民からの防災に関する意見

排水施設関連の情報提供  
問題提起・助言

勉強会で出た意見  
排水施設の増設・能力強化等

**大崎市独自の取り組み**

IV. 大崎市「水害に強いまちづくり」プロジェクト (R2～R3)

【専門家会議】第1回：9月4日開催

- ◆ 大崎市の地域特性に応じた長期的かつ分野横断的な視点で抜本的水害対策への提言取りまとめ
- ◆ 水害に強いまちづくりあり方や国・県への政策提言に反映

【ワークショップ】

- ◆ 災害時の住民自らの役割を考える場を提供
- ◆ 地域の現状を知り、住民の防災意識(自助共助の考え)を高める

**国や自治体など関係機関連携による水害対策**

V. 吉田川流域の排水対策に関する勉強会 (R2.3～)

【目的】

- ・地元土地改良区が中心となり、排水対策についての関係機関による意見交換会の場

【参加者】

国土交通省・農林水産省・宮城県農政部・関係土地改良区

# 3.令和元年台風19号による大規模浸水被害対策分科会の取組状況(実施状況)

新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」取り組みメニューについて、各実施主体より実施状況のとりまとめを行った。今後、問題点・課題についてとりまとめる。

## 新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」国・県・市町の主な実施状況

### I.治水安全度の向上

- 河道計画
  - ・堤防の嵩上げ・腹付け、下流部から河道掘削を実施【国】
  - ・H29から吉田川床上緊急対策として、堤防整備を継続実施中【県】
- 堤防強化（壊れにくい堤防）
  - ・粕川地区の法尻補強実施予定【国】
  - ・小西川及び身洗川で川表護岸整備【県】
  - ・身洗川の堤防腹付け・天端舗装を検討【県】
- 堤防天端の活用
  - ・車両交換場所として一部区間を拡幅【国】

### II.氾濫拡大の防止

- 内水対策
  - ・巳待田第2調整池、令和4年度完成予定(R2～R4)【大崎市】
  - ・普通河川の堆積土砂等撤去開始(R2～R5)【大郷町】
- 氾濫流制御対策（管理用通路区間の盛土）
  - ・用地確保済み。国・県共同事業であり、引き続き調整を図る【国】【県】

### III.避難地警報システム

- 避難建屋・備蓄物資の整備
  - ・中粕川地区に避難建屋建設を計画(大郷町復興再生ビジョン)【大郷町】
- 庁舎や排水機場の耐水化
  - ・庁舎の非常用電源設置済【大崎市】【大郷町】
  - ・役場庁舎の嵩上げ、非常用電源確保済【松島町】
- 避難路・復旧路の確保（道路嵩上げ）
  - ・市道木間塚南北1号線をの嵩上げを実施中(R3完成予定)【大崎市】
  - ・兼用堤による避難路の確保を計画【大郷町】
- 防災行政無線
  - ・屋外子局7基増設予定(志田谷地4・姥ヶ沢1・鎌巻1・内ノ浦1)【大崎市】
  - ・視覚障害者・消防団協力事務所に個別受信機設置予定【大崎市】
  - ・高城川沿いの市街地へ屋外子局を増設【松島町】
  - ・難聴区域世帯に戸別受信機の無料貸与実施【松島町】
- 水位情報等の情報共有の強化
  - ・危険箇所に危機管理水位計、簡易型河川監視カメラを増設【国】
  - ・危機管理水位計(6箇所)、簡易型河川監視カメラ(5箇所)を整備。今年度完成予定【県】

### IV.氾濫水排除の迅速化

- 排水施設の増設検討
  - ・緊急排水樋管の改良検討中【国】

### V.適正な土地利用の規制誘導

- 移転・建替補助制度の検討
  - ・希望者に、浸水ハザード外(中村地区)に宅地分譲予定【大郷町】

### VI.新たな減災・ソフト対策

- 災害時情報担当の確保・連絡体制の構築
  - ・地域防災計画見直し内で連絡体制、リエゾン早期派遣要請を位置付け【松島町】
- タイムラインの改善および訓練・検証
  - ・警戒レベルの追加を踏まえ、見直しを行った【大崎市】
- マイタイムラインの作成
  - ・ハザードマップに掲載予定(全戸配付)【大郷町】
- リスクの情報共有
  - ・重要水防合同巡視時に危険箇所の情報共有を実施【国】【県】【大崎市】【大郷町】【松島町】
- 避難行動宣言ツールの購入
  - ・自主防災組織で避難旗を購入開始【松島町】
- 要配慮利用施設管理者への説明会
  - ・地域防災計画に利用施設を掲載【大郷町】
  - ・協定締結時に受入対象家屋や要請方法等、確認を行っている【大郷町】



# 4.令和元年台風19号による大規模浸水被害対策分科会の取組状況(推進実務者会議)

## 吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」 推進実務者会議

目的：本会議は、「令和元年台風第19号による大規模浸水被害対策分科会」において取りまとめる「吉田川・新たな『水害に強いまちづくりプロジェクト』」の取組メニューの確実な推進を図るための、各事業に関する各種調整等を行うことを目的とする。

設立：令和2年10月6日

### 所掌事項

1. プロジェクト取り組みメニューの事業化
2. 各事業の連携・調整
3. 各事業のフォローアップ
4. その他

### 主な意見

- ・重要水防箇所が一目でわかるように現地に表示して欲しいという意見あり、QRコードを使った現地試験を実施中。良好なら、拡大する予定。
- ・利便性の観点から水防災拠点を集落近傍に増設して欲しいという要望がある。
- ・分科会でとりまとめた取り組みメニューに対する農政部局との調整も必要。
- ・今は、モデル事業等の予算を確保出来る制度がなく、各機関連携して事業を進めなければならない。 など

◇日時：令和2年10月6日(火)  
13:30~15:30

◇場所：鹿島台出張所 3F会議室

◇出席者：国土交通省：1名  
宮城県：8名  
(土木4名、農林4名)  
大崎市：6名  
松島町：4名  
大郷町：3名(欠席1)  
土地改良区：1名(代理出席)

### 【議事】

- ◆趣旨説明
- ◆規約について
- ◆推進実務者会議について
- ◆その他(今後の検討の予定)



会議の様子



会長挨拶